

本科第 74 期学生 一般採用試験  
数学・社会（世界史）試験問題

（ 人文・社会科学専攻 ）

（注 意）

1. 解答用紙の注意事項を確認のうえ、例にならって氏名及び受験番号を解答用紙に必ず記入及びマークすること。

例 【氏名】 防大 渚 【受験番号】 神奈川人W1234 の場合

※氏名及び受験番号の記入について

	氏	名
フリガナ	ボウダイ	ナギサ
漢 字	防大	渚

	志願地本名	専攻区分	番 号
受験番号	神奈川	人	W1234

※受験番号等のマークについて（女子受験者は、番号のWはマークしない。）

志願地本名	札幌：(01)	福島：(10)	専攻区分	番 号					
	函館：(02)	茨城：(11)		性別	0	0	0	0	
	旭川：(03)	栃木：(12)			人 社	1	1	1	1
	帯広：(04)	群馬：(13)			男 (1) 女	2	2	2	2
	青森：(05)	埼玉：(14)				3	3	3	3
	岩手：(06)	千葉：(15)				4	4	4	4
	宮城：(07)	東京：(16)				5	5	5	5
	秋田：(08)	神奈川：(17)				6	6	6	6
	山形：(09)	新潟：(18)				7	7	7	7
						8	8	8	8
		9	9			9	9		

2. 試験時間中は、すべて試験係官の指示に従うこと。
3. 解答方法は、択一式であり、設問ごとの指示に従い、解答用紙の解答欄にマークすること。
- 例えば、**1**の設問01と表示のある問題に対して（C）と解答する場合は、次の例のように

**1**の設問01解答欄の(C)にマークすること。

解 答 欄					
例	<b>1</b> 設問01	(A)	(B)	(C)	(D)

1 以下の問題文を読み、それぞれの設問の指示にしたがって解答しなさい。

[A]

以下の【資料①】は、ある学術書の一部を書き改めたものである。

【資料①】

18世紀後半から19世紀前半にかけて、イギリスで始まった産業革命は、経済成長の近代的局面の始まりであり、現代社会を創造する最初の一步であった。産業革命の前から製造業は普及していたけれども、それは文字通り「手工業」を意味していた。このような状況は、[ア]工場の発明によって一変した。工場の中核で生み出された動力を使って、機械を動かした最初の工場は、綿紡績工場であった。[イ]蒸気機関が発明され、金属溶鋼・精錬業は、小規模な鍛造所\*から変貌し、巨大な溶鉱炉や圧延工場\*\*でなされるようになった。

なぜ[ウ]産業革命はイギリスで起きたのか。世界の他の地域や国々とイギリスとの大きな違いは、イギリスにおける生産投入要素価格\*\*\*の構造が独特であったということである。イギリスでは、比較的賃金が高く、燃料は安価であった。この価格構造は、[エ]17世紀と18世紀前半に築き上げられた貿易帝国から結果的に生み出されたものである。同じ理論で、なぜ日本で産業革命が起きなかったかを説明することができる。[オ]徳川幕府の経済政策は、産業革命以前のイギリスの経済政策とは、全く逆であった。

19世紀前半には、[カ]西ヨーロッパ、そしてアメリカ合衆国が工業化に向けて、経済的な阻害要因を取り払わねばならなかった。

[キ]アジア、アフリカ、ラテンアメリカは、より困難な状況にあり、成功することはまれであった。現代でいうところの「低開発国」とは19世紀につくり出されたものなのである。大英帝国の成功の裏面にこのような発展途上国誕生の物語がある。

[ク]日本は、このような成功の見込みがない環境で、19世紀後半に成功を収めた例外的事例である。日本がいかにしてこのような状況に対処したかを考えるとき、日本の発展とイギリスの成功を支えた双方における制度的な違いに目を向けざるを得ない。

たんぞう  
\*鍛造所：金属を加熱し、圧力を加えて成形する工場

\*\*圧延工場：圧延機に金属を通して棒・板などに引き延ばして加工する工場

\*\*\*生産投入要素価格：「労働・土地・資本」といった生産を行うのに必要な経済的資源に関連した価格

(R.C.アレン『世界史のなかの産業革命』より改編して作成)

設問01 下線部[ア]のイギリス社会に生じた変化の説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 労働者の一部は、機械により職を奪われたため機械打ちこわし運動に加わった。
- B 家族における男女の役割分担のあり方が変化し、女性の工場労働者が減少した。
- C 機械の稼働時間によって管理される労働形態が生まれた。
- D 家庭は生産の場ではなくなり、職場と家庭が分離した。

設問02 下線部[イ]により鉄道が運行されるようになった。それにより生じた社会の変化の説明としてもっとも不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 安全な運行のために、統一された時刻が求められるようになった。
- B 団体旅行などが実施され、後に蒸気船により海外へと行き先が広がった。
- C 石炭などの資源が以前より効率的に工場へ運ばれた。
- D 農村から都市までの長距離間を通勤することが日常となった。

設問03 下線部[ウ]について、イギリスの国内事情の説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 資本家が農地を囲い込み、この土地を農家に安価に売却したため生産性が上がった。
- B 大西洋三角貿易により莫大な利益を得ていたため、資本が十分あった。
- C 機械を動かすのに必要な石炭や、鉄鉱石などの資源が豊富であった。
- D 新しい農法の採用や農機具の改良により、多くの人口を支えることが可能となった。

設問04 下線部[エ]の時代の貿易状況の説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アメリカでは、西アフリカからの黒人奴隷を用いたタバコなどの栽培が盛んであった。
- B オランダは、インドネシアの村落にコーヒーなどの作物栽培を割り当てて、安い価格で買いあげる強制栽培制度を導入した。
- C インドは、更紗やキャラコなどの綿織物の生産を増大させ、東南アジアや西ヨーロッパ諸国などに輸出した。
- D ヨーロッパでは、中国の茶が人気となり、のちに中国から陶磁器が輸出されるとシノワズリ（中国趣味）が流行した。

設問05 下線部[オ]に関して、本文から読み取れる当時の日本の経済状況について、もっとも適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 海外との貿易は限定的であった。
- B 都市部の働き手の賃金は高かった。
- C 機械や技術の発明により、労働力が大幅に減少した。
- D 石炭の開発が進んだため安く入手できた。

設問06 下線部[カ]について、各国が行った政策の説明としてもっとも適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アメリカ南部では、繊維産業を中心に工業化が進展した。
- B ベルギーは、農奴を解放して賃金労働者を生みだし工業化を実現させた。
- C フランスは、第二帝政期に鉄道網の整備を行い、農業を中心に産業革命を成功させた。
- D ドイツの諸領邦では、ドイツ関税同盟が発足し、領域内の市場統合が進んだ。

設問07 19世紀における下線部[キ]の地域について説明した内容として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ラテンアメリカでは、ナショナリズムを背景に多くの国が独立したが、不安定な政治が続いた。
- B エジプトは、スエズ運河の建設により巨額の債務を負い、外国の財務管理下におかれた。
- C 産業革命が進展したヨーロッパ諸国は、市場を拡大するためにアフリカの植民地化にのりだした。
- D 東南アジアの諸地域は、二次製品の生産を拡大して他のアジア地域に輸出した。

設問08 下線部[ク]について、日本が近代産業を発展させることができた要因の説明としてもっとも不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 紡績業・製糸業では、輸入機械を投入した大工場が次々と建設された。
- B 政府は、日本銀行を設立し、兌換紙幣による通貨の安定を実現した。
- C 欧米諸国の技術が工場に導入されたり、技術教育などが推進された。
- D 政府は、鉱山や造船所などの官営事業を推進し、産業の担い手であり続けた。

設問09 イギリスの産業革命は、資本家と労働者の経済的格差を生み、労働者の賃金水準や労働環境などは劣悪なものとなった。それらの改善を目指す社会主義思想に関連した内容として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 労働者が政権を掌握し、私有財産制度を廃止するという考えが広まり、これがのちにロシア革命を導く理論となった。
- B オーウェンは協同組合的な社会の構想を説き、理想のモデルとなる工場村を経営した。
- C 日本では、この思想に影響を受けた内村鑑三が、後に大逆事件で処刑された。
- D エンゲルスは、労働者の過酷な労働や悲惨な生活環境を指摘し、その原因を分析した。

設問10 日本でも産業革命が進んでいくと社会問題が深刻となっていった。当時の社会問題の説明としてもっとも不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 足尾銅山の鉱毒被害が深刻となり、田中正造らが操業停止を求めた。
- B 大阪の天満紡績会社の女工が育児休業を求めてストライキを起こした。
- C 劣悪な労働・生活環境の中で、結核などの伝染病にかかる者もいた。
- D 都市に流入しても十分な収入を得られなかった人々は、一定の地域に集住した。

[B]

19世紀のイギリスでは、労働者の労働環境を改善するため工場法が数度にわたり制定された。【資料②】はイギリスの工場法制定に関する年表の一部である。【資料③】は、1836年にイギリスの工場監察官が労働者の労働状況について報告したものである。他方、【資料④】は、1911年に日本で公布された工場法の抜粋である。これらの資料を読み、それぞれの設問の指示にしたがって解答しなさい。

【資料②】

年	産業	法律の内容
1833	繊維産業	9歳未満の児童労働の禁止 9～13歳の児童の労働時間の削減 児童は毎日2時間学校で勉強する 4名の工場監察官を任命する
1844	繊維産業	8～13歳の児童は一日6時間半まで労働を認める 女性の労働時間を12時間までに制限し、夜間労働の禁止
1847	繊維産業	女性および18歳以下の児童の労働は1日最大10時間に制限
1867	すべての産業	これまでの規則すべては、5名以上の労働者がいる工場において適用される
1901	すべての産業	12歳未満の労働禁止

(The National Archives Education Serviceより作成)

【資料③】

私は、男児たちから聞きました。彼らは5月27日金曜日の朝6時から働き始め、食事の時間に加えて、真夜中には1時間の休憩があったものの、それ以外は、土曜日の夕方4時まで働き続けました。つまり夜通し働いていたのです。そんなことはありえないと思いながら、男児一人ひとり全員に同じ質問をしたところ、それぞれ同じように答えたのです。そして私は労働時間管理簿を工場まで見に行き、管理者の一人の前で、この事例に対する深刻さについて指摘し、私の権限で厳重に処罰すると伝えました。

(The National Archives Education Serviceより作成)

【資料④】

第一条 本法は左の各号の一に該当する工場にこれを適用する。

一 常時十五人以上の職工を使用するもの

二 (中略)

本法の適用を必要としない工場は勅令でこれを除外することができる。

第二条 工業主は十二歳未満の者を工場で就業させることができない。ただし、本法施行の際、十歳以上の者を引き続き就業させる場合はこの限りではない。行政官庁は軽易な業務について就業に関する条件を付して、十歳以上の者の就業を許可することができる。

第三条 工業主は十五歳未満の者および女子を一日につき十二時間を超えて就業させることができない。

主務大臣は業務の種類により、本法施行後十五年間に限り前項の就業時間を二時間以内延長することができる。

(「工場法」(1911年公布)より平易な文に改めて作成)

設問11 【資料②】から読み取れる内容としてもっとも適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A これらの一連の工場法により、13歳の児童の労働可能な時間が法的に増えた。
- B 児童は、学校に行き、復習時間を含めると毎日4時間勉強した。
- C 女性は18歳になると、1日10時間を超えて労働できるようになった。
- D 4名の労働者がいる紡績工場では、必ず工場監察官として4名が任命された。

設問12 【資料③】の報告書を読み、守られていないと確認できる【資料②】の法律の内容を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 9歳未満の児童労働の禁止。
- B 9～13歳の児童の労働時間の制限。
- C 児童は毎日2時間学校で勉強する。
- D 4名の工場監察官を任命する。

設問13 1901年の時点において有効な【資料②】の法律と、【資料④】の法律を比較して、読み取れる内容についてもっとも適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A イギリスと日本の工場では、すべての職種において就業するには必ず12歳以上でなければならないが、例外は認められていなかった。
- B イギリスでは児童はすべての産業のあらゆる職種に就くことができるが、日本では特定の産業の業種においてのみ就業でき、特に軽易な業務に就くことが望ましいとされていた。
- C イギリスおよび日本の工場法によると、工場で働く人が5人以上いる場合は、法に規定されている内容が適用された。
- D イギリスの女性は10時間を超える労働は禁止されていたが、日本の女子は12時間を超える労働は禁止されているものの、例外的に就業時間の延長が認められていた。

2 以下の問題文を読み、それぞれの設問の指示にしたがって解答しなさい。

[A]

【資料①】は、1860年に幕府が出した貿易に関する法令である（一部、読みやすく表記を改めた部分がある）。これを読んで以下の設問に答えなさい。

【資料①】

一 神奈川御開港、<sup>[ア]</sup> 外国貿易<sup>※1</sup> 仰せ出だされ<sup>おほ</sup>候<sup>そうろう</sup>  
につき、諸商人ども一己の利徳に泥み、競て相場糶<sup>せり</sup>  
上げ、<sup>※2</sup> 荷元<sup>にもと</sup>を買い受け、直に御開港場へ<sup>※3</sup> 相廻<sup>あいまわ</sup>  
し候につき、御府内<sup>ごふない</sup> 入津<sup>にゅうしん</sup>の荷物相減じ、<sup>※5</sup> 諸色<sup>しよしき</sup>  
払底に相成り、難儀致し候趣相聞<sup>あいき</sup>こえ候につき、当  
分の内、左の通り仰せ出だされ候。  
一 雑穀 一 水油 一 蠟 一 呉服 一 糸<sup>[ウ]</sup>  
右の品々に限り、貿易荷物の分は、都て御府内より<sup>すべ</sup>  
相廻し候筈に<sup>※6</sup> 候間、<sup>※7</sup> 在々より決して神奈川<sup>ぞいざい</sup>  
<sup>※8</sup> 表へ積み出し申すまじく候。

※1 仰せ出だされ<sup>おほ</sup>候<sup>そうろう</sup>は動詞の形。  
※2 荷元<sup>にもと</sup>は動詞の形。  
※3 相<sup>あ</sup>廻<sup>いまわ</sup>は動詞の形。  
※4 御府内<sup>ごふない</sup>は動詞の形。  
※5 諸色<sup>しよしき</sup>は動詞の形。  
※6 候間<sup>こうま</sup>は動詞の形。  
※7 在々<sup>ぞいざい</sup>は動詞の形。  
※8 表<sup>おもて</sup>は動詞の形。

(『続徳川実紀』)

設問14 傍線部[ア]に関する次の説明を読み、①～③の( )内に入る語句の組み合わせとして適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

1858年、幕府はアメリカと( ① )を結び、これにより神奈川(横浜)・兵庫(神戸)・長崎・箱館・( ② )が開港場となった。また、オランダ・ロシア・イギリス・( ③ )とも同様の条約を結んだ。

- |   |           |     |       |
|---|-----------|-----|-------|
| A | ①日米和親条約   | ②敦賀 | ③イタリア |
| B | ①日米修好通商条約 | ②下田 | ③フランス |
| C | ①日米和親条約   | ②下田 | ③ドイツ  |
| D | ①日米修好通商条約 | ②新潟 | ③フランス |

設問15 傍線部[イ]に関する次の説明を読み、①～③の（ ）内に入る語句の組み合わせとして適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

諸外国との貿易は、開港場に設けられた（ ① ）において行われた。幕末期、開港場のなかで最大の貿易額を誇ったのは（ ② ）で、最大の貿易相手国は（ ③ ）であった。

- |   |          |     |       |
|---|----------|-----|-------|
| A | ①外国人居留地  | ②長崎 | ③イギリス |
| B | ①外国人居留地  | ②横浜 | ③イギリス |
| C | ①外国人商業特区 | ②長崎 | ③アメリカ |
| D | ①外国人商業特区 | ②横浜 | ③イギリス |

設問16 傍線部[ウ]に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 生糸は17世紀より日本の主要な輸出品で、幕府は生糸の流出を防ぐためしばしば貿易制限を行った。
- B 生糸はこの当時日本の輸出品のうち最大額のものであった。
- C 日本の生糸は良質であったことから外国人に好まれた。
- D ヨーロッパで微粒子病と呼ばれる蚕の病気が流行したことが、日本の生糸の輸出を促進した。

設問17 【資料①】の内容として適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 雑穀などの5品については、幕府の管理のもと江戸で外国人と取引することとした。
- B 商人たちは、江戸で貿易品を買い占め、物価の上昇を引き起こした。
- C 幕府は、雑穀などの5品は江戸に運び、江戸から開港場に回すように命じた。
- D 幕府は雑穀などの5品については、江戸に運ばれたら神奈川に回送してはならないと命じた。

[B]

昭和戦前期の日本の貿易に関する次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

満洲事変後、日本では軍拡と重化学工業化が進んだため、機械や鉄の輸入が急増した。一方、[ア]世界恐慌で輸出量を大きく減らした生糸に代わり、(イ)の輸出が飛躍的に拡大した。しかし、英米(植民地を含む)との貿易では輸入超過が続き、なかでも(ウ)・屑鉄・工作機械などはアメリカへの依存を深めた。

日中戦争勃発後の1938年11月、近衛文磨首相は東亜新秩序声明を出したが、これは[エ]ワシントン体制の修正と解体を目指すものであった。日本の大陸政策に強く反発したアメリカは、翌年7月に日米通商航海条約の廃棄を通告した。そのため、[オ]第二次世界大戦勃発後、日本は新たな資源供給地の確保に乗り出していくことになる。

設問18 下線部[ア]への各国の対応に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A イギリスは金本位制を停止するとともに、スターリング＝ブロックを形成した。
- B フランスは自国の影響下にある小国や植民地を囲い込み、フラン＝ブロックを形成した。
- C 浜口雄幸内閣は積極的な財政支出によって需要を生み出し、重化学工業の発展を促した。
- D アメリカでは、労働者の団結権・団体交渉権を保障するワグナー法や、同国最初の社会保障法が制定された。

設問19 空欄(イ)(ウ)に当てはまる語句の組み合わせとして適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい

- A (イ) 木材 (ウ) 石炭
- B (イ) 綿織物 (ウ) 石油
- C (イ) 大豆 (ウ) 羊毛
- D (イ) 米 (ウ) 砂糖

設問20 下線部[エ]に関連して、次の文①・②を読み、その正誤の組み合わせとして適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- ① 中国の領土と主権の尊重、中国における門戸開放・機会均等を約した九カ国条約が締結された。
- ② 日本は四カ国条約により旧ドイツ領南洋諸島を委任統治領として獲得した。

- A ① 正 ② 正
- B ① 正 ② 誤
- C ① 誤 ② 正
- D ① 誤 ② 誤

設問21 下線部[オ]に関連して、次の【資料②】は1939年12月に外務大臣・陸軍大臣・海軍大臣が決定した対外政策の一部である（一部表現を改めたところがある）。資料中に「中南米及西南亜細<sup>アジア</sup>亜」とあるが、日本はなぜ両地域に着目したのか。考えられる理由を述べた文①・②について、その正誤の組み合わせとして適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

【資料②】

第四 対外経済政策大綱

日満支経済圏内に於ける自給自足の促進、並に現下国際情勢及戦後の事態に対処し得る帝国新経済政策の樹立を目標とし特に下記諸点に留意して適正なる施策を行ふものとす

(イ) 日満支経済圏を一体とし之と諸外国との経済関係の調整増進を計ること

(ロ) 国防経済自給圏確立の見地より特に南方諸地域に対する経済的進出に努むること

(ハ) 帝国産業貿易の特定国に対する偏在的依存関係是正に努め特に中南米及西南亜細<sup>アジア</sup>亜※方面に対する経済的進出に留意すること、英米に対する過度の経済的依存関係は成るべく速に脱却するの要あるも一挙に之を為し得ざる現状なるに鑑み、英米両国との関係に付ては充分の注意を払ひ新支那経済建設に協力せしむる様其の誘導に努むること

※西南亜細亜：現在のアフガニスタン、イラン、トルコ、サウジアラビアなど

(『日本外交年表並主要文書 下』)

- ① 欧州情勢の混乱により、ソ連が従来のように中南米に強い影響力を行使することが困難になると考えられた。
- ② 独伊が欧州情勢への対応に忙殺されて、西南アジアから撤退すると考えられた。

- A ① 正            ② 正  
B ① 正            ② 誤  
C ① 誤            ② 正  
D ① 誤            ② 誤

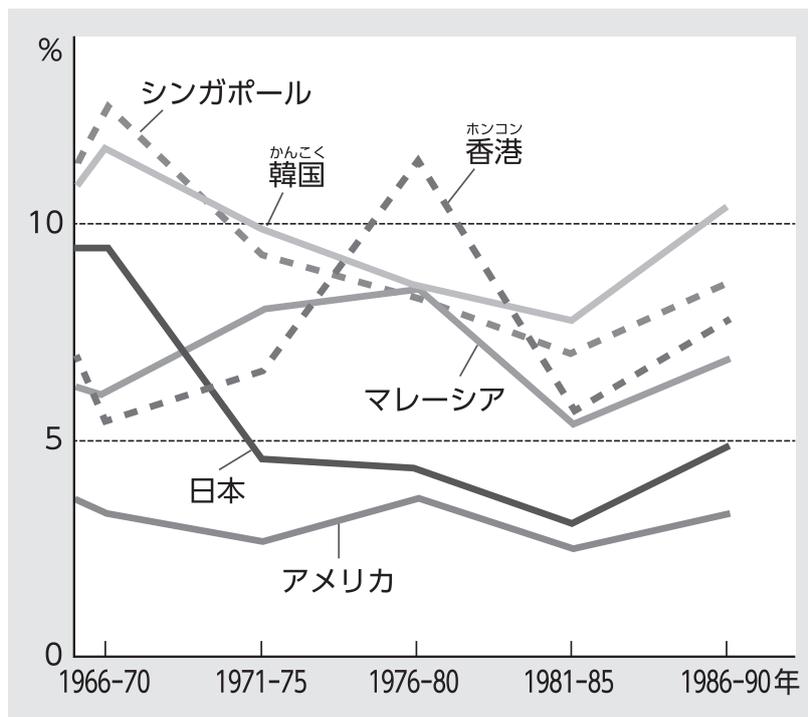
[C]

20世紀後半の貿易に関する次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

1950年に始まった朝鮮戦争の特需によって、荒廃した日本の経済は立ち直るきっかけを得た。企業の積極的な設備投資によって、〔ア〕1955年ごろから経済の高度成長が始まった。日本は年平均で約10%の経済成長をはたし、1968年に国民総生産がアメリカについて2位となる。1955年に日本は〔イ〕GATTに、1964年には〔ウ〕OECDに加わり、経済復興を国内外に印象づけた。第1次石油危機の影響により高度経済成長は終わりを迎え、1974年に日本の経済成長率はマイナスとなったが、その状況に対応した日本は不況から脱出し、1980年代後半には世界最大の債権国となった。その一方でアメリカへの輸出の急増は〔エ〕貿易摩擦を引き起こした。日本は貿易の体質改善を求められ、1990年代にかけて日本経済の環境は大きく変化した。

1970年代以降、アジアでは飛躍的な経済成長に成功する国が登場した。**【資料③】**は主に1970年代から1980年代の各国・地域の実質経済成長率をあらわしている。アジアの動向は、現在ますます世界経済に大きな影響を与えるようになってきている。

【資料③】 実質経済成長率の変化



(世界銀行)

設問22 下線部〔ア〕に関連して適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 日本の産業が重工業中心から軽工業中心に転換し、輸出を伸ばした。
- B 1960年に成立した田中角栄内閣は国民所得倍增計画を打ち出した。
- C 西アジアの産油国からの安価な原油を利用して、日本は加工貿易に力を注いだ。
- D 変動為替レートや、技術革新による日本製品の品質向上により、輸出を伸ばした。

設問23 下線部[イ][ウ]の用語とそれを説明した文①～③の正しい組み合わせを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- ① 経済協力開発機構のことであり、自由主義諸国の開発途上国援助を促進させることを目的のひとつとする。
- ② 国連貿易開発会議のことであり、貿易と開発、技術、持続可能な開発の関連問題に総合的に対応する機関である。
- ③ 関税及び貿易に関する一般協定のことであり、関税の引き下げや輸出入制限の撤廃が目指された。

- A [イ] ①            [ウ] ②
- B [イ] ②            [ウ] ③
- C [イ] ①            [ウ] ③
- D [イ] ③            [ウ] ①

設問24 下線部[エ]に関連する出来事として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 南米ウルグアイの会議から始まった多角的貿易交渉で、日本はコメ市場の部分開放を決めた。
- B 5カ国財務相・中央銀行総裁会議ではドル安を協調的かつ安定的に達成することで合意した。
- C 日本は、貿易統制などを目指した経済安定九原則の実施にあたり、デトロイト銀行頭取ドッジを招請した。
- D 日本は、アメリカの要求に応じ、牛肉やオレンジの輸入自由化に合意し、1991年に実施した。

設問25 【資料③】から読み取れる内容とその背景としてもっとも適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 1970年代以降、香港、韓国、シンガポールは高い経済成長率を維持し、台湾を含めた4つの国や地域は、アジアNIESと呼ばれた。
- B 香港やシンガポールは日本企業の工場の移転を受け、1970年代から1980年代の間、実質経済成長率は上昇し続けた。
- C 日本やアメリカでは、バブル経済が崩壊したことから、1980年代後半に経済成長率が急落した。
- D タイの通貨バーツが暴落したアジア通貨危機は、1970年代のマレーシアの経済に大きな損失を与えた。

3 以下の問題文を読み、それぞれの設問の指示にしたがって解答しなさい。

[A]

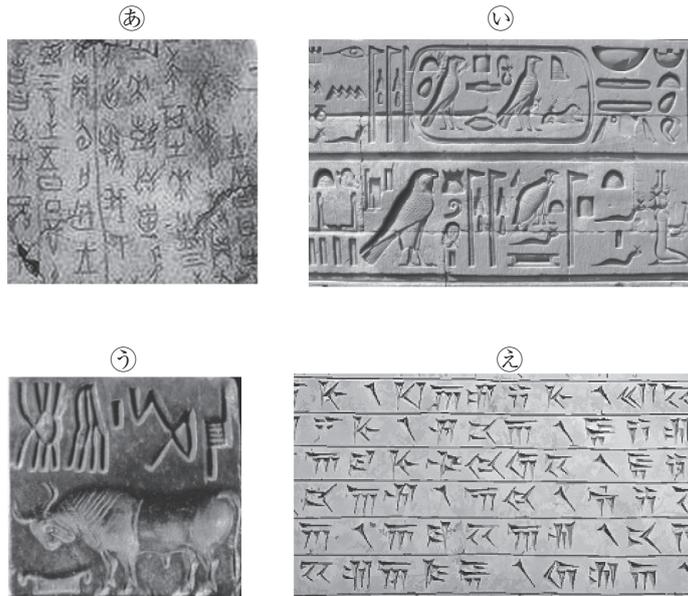
人類は、約700万年前に出現し、氷河期の終わりとともに約1万年前から農耕と牧畜を開始した。約5,000年前から灌漑農業かんがいを行うようになると、生産力が増大して余剰農作物が発生した。食料の余剰は定住生活を促し、徐々に小規模な集落が形成されていった。これが後の都市の出現につながり、歴史上、4つの主要な文明が誕生する契機となった。これら4つの文明では、社会が複雑化するにつれ、管理や統治のために記録の必要性が高まり、それぞれ独自の文字が発明され発達していった。

前10世紀ごろになると、地中海東岸の諸都市を拠点とした人々がさかんに交易や植民活動を展開するようになった。ギリシア人は彼らをフェニキア人と呼んだ。フェニキア人は、優れた造船・航海術を用いて地中海貿易で繁栄し、交易品の数量や価格など取引きの内容を記録するためにフェニキア文字を考案した。前11世紀ごろにヒエログリフの影響を受けて成立したといわれるこのフェニキア文字は、その後、諸民族に受け入れられ、各地でさまざまな言語をあらわすための文字として変形・分化していった。

【資料①】 4つの主要な文明



【資料②】 4つの文明で発明された文字



設問26 【資料①】の4つの文明に共通する記述としてもっとも不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 大河の流域に成立し、水資源を活用した農耕を基盤としていた。
- B 実用的な農具や武器、または宗教儀礼用の祭器として青銅器が用いられた。
- C 温暖で農耕に適した気候帯である北緯40度前後の地域で誕生した。
- D 農業の発展に伴い、農具の加工技術や土木技術などが発達していた。

設問27 【資料①】の4つの文明と、そこで使用された【資料②】の㉑～㉔の文字の組み合わせとして適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

	インダス文明	エジプト文明	中華文明	メソポタミア文明
A	㉑	㉒	㉓	㉔
B	㉓	㉑	㉔	㉒
C	㉑	㉓	㉒	㉔
D	㉔	㉒	㉓	㉑

設問28 各地で発明された文字に関する記述としてもっとも不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A インダス文字は、インドだけでなく、東南アジアの文字のもととなった。
- B フェニキア文字は、ギリシア文字やアラム文字のもととなった。
- C アラム文字は、アラビア文字やモンゴル文字のもととなった。
- D 漢字は、甲骨文字から発達し、東アジアに広がった。

[B]

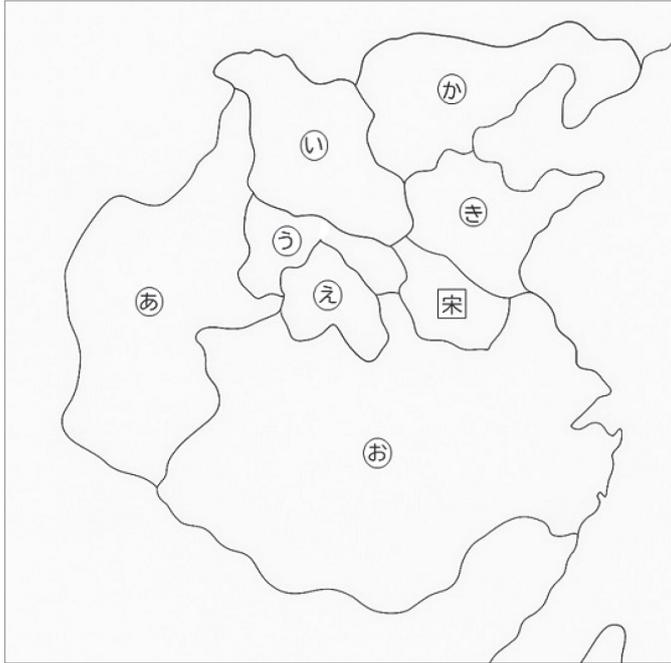
春秋・戦国時代の中国では、政治や社会のあり方をめぐり、諸子百家と呼ばれる多彩な思想学派があらわれた。その思想家たちはあるべき社会秩序とその実現の方法を説いた。【資料③】は、そのうちの一人が説いたとされる内容である。【資料④】に示される〔ア〕戦国の七雄（齊・楚・秦・燕・韓・魏・趙）と呼ばれる諸国では、他国との競争に勝ち抜くため、出身地や身分にとらわれず彼らのような有能な人材を登用した。

またこの時代、鉄製農具や牛犁<sup>ぎゅうりこう</sup>の普及、治水灌漑事業などによって農業生産力が向上し、諸国では農民を徴発して強大な軍隊を編成するなどの富国強兵策が推進され、軍需物資獲得のために商業が発展した。諸国では【資料⑤】のようなさまざまな青銅貨幣が铸造され貨幣経済が浸透した。

【資料③】

私の聞くところでは、天下は〔趙を中にして〕北には燕、南には魏、それに楚を連ね齊を固め韓を合わせて、合従の連合をなしとげ、今や西に向かって強国の秦と事を構えようとしているとのこと、私、内心これを笑っております。世の中には国を滅ぼす三つの道があり、今の天下はそれにあたるというのは、まあこのことでしょうか。私、こう聞いていますが、乱れている国が治まった国を攻めると滅びるし、邪まな国が正しい国を攻めると滅びるし、自然の秩序に逆らう国が自然の秩序に従う国を攻めると滅びるといふこと〔これが国を滅ぼす三つの道〕です。今、天下の諸侯の資材庫は充実せず米倉もからっぽであるのに、その士人や民衆をすべて駆り集めて、数十万から百万の大軍を展開していますが、そのうち頭を地にうちつける拜礼をして羽飾りを高く掲げ、將軍のために馬前で決死の覚悟でいるものは、千人にも及びません。みな口には討死にと言っていますが、しかし、敵の白刃が前から迫り、〔逃げると斬るぞという〕味方の斧が後にひかえるとなると、向きをかえて逃げ出してしまって、討死にすることはできないのです。これは、その士人や民衆が死ねないというわけではありません。上に立つ者が死なせるようにできないからです。つまり、賞を与えるぞと言いながら与えるべきときに与えず、罰をくだすぞと言いながらくだすべきときにくださず、賞と罰とが確かでないから、士人も民衆も命を投げ出さないのです。

【資料④】



【資料⑤】 青銅貨幣



設問29 【資料③】と【資料④】から、下線部[ア]の地図上の位置の組み合わせとして適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

	齊	楚	秦	燕	韓	魏	趙
A	か	お	う	い	き	え	あ
B	か	え	あ	き	い	お	う
C	え	あ	お	か	う	い	き
D	き	お	あ	か	え	う	い

設問30 【資料③】で説かれている諸子百家の思想学派と、この思想を採用した国の組み合わせとして適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

	諸子百家の思想学派	思想を採用した国
A	儒家	韓
B	儒家	秦
C	法家	韓
D	法家	秦

設問31 下線部[ア]に関連し、この時代の統治について述べた【メモ】の  と  に入る語の組み合わせとして適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

【メモ】

春秋・戦国時代において、強大化した諸国は、併合した国や開拓した新領地を  とし、そこに  を派遣して農民や商工業者を直接支配する中央集権策による統治をおこなった。

	<input type="text" value="イ"/>	<input type="text" value="ウ"/>
A	郡・県（郡県制）	世襲の諸侯
B	郡・県（郡県制）	官僚
C	州・県（州県制）	世襲の諸侯
D	州・県（州県制）	官僚

設問32 【資料⑤】の青銅貨幣の説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 各国で発行された青銅貨幣の多くは、国をまたいで流通していた。
- B 刀貨（刀銭）と呼ばれる青銅貨幣は、おもに楚の国を中心に使用された。
- C 青銅貨幣の普及は、貨幣経済の発展を促し、納税制度の整備に大きく寄与した。
- D 青銅貨幣は、その後、日本にも伝わり「和同開珎」が鑄造された。

[C]

戦国時代から秦漢帝国の時代にかけて、朝鮮半島や日本列島ではさまざまな小国家が形成された。これらの小国の中には、当時の中国の王朝と関係をつぶす首長もあらわれた。首長は朝貢使節を送り、中国の皇帝は周辺諸国の首長に「王」の称号を与え、そのことを示す印綬を首長に授けた。皇帝から冊封を受けた首長は、皇帝と君臣関係を結び、みずからの支配権を承認してもらった。【資料⑥】と【資料⑦】は、当時の中国の王朝と周辺諸国との関係を示した資料である。

【資料⑥】

建武中元二（57）年、倭の奴国が献上品を奉じて朝賀し、使者は自ら大夫と称した。倭国の極南界である。光武帝は印綬を賜った。安帝の永初元（107）年、倭の国王の帥升らが生口（奴隷）百六十人を献上し、拝謁を願った。

【資料⑦】 印綬



設問33 【資料⑥】の出典と、このとき光武帝が倭の国王に授けたとされる印綬（【資料⑦】）の組み合わせとして適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

	印綬（【資料⑦】）	【資料⑥】の出典
A	あ	『漢書』
B	い	『漢書』
C	あ	『後漢書』
D	い	『後漢書』

設問34 【資料⑥】に関する時代の記述としてもっとも不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 朝貢する側は中国の王朝の権威や文化・技術を利用する目的があった。
- B 邪馬台国では卑弥呼が後漢へ朝貢使節を送った。
- C 朝貢と冊封による君臣関係は現実の支配関係ではなく名目上のものであった。
- D 授けられた印綬の把手は相手国に応じて蛇や亀や羊などの形があった。

[D]

世界史探究の授業で、花子さんと太郎さんは、中国史上における西周の時代から西晋の時代までの王朝の興亡と首都の変遷について調べてみた。【資料⑧】から、2人は多くの諸侯や国王に都として長安と洛陽が選ばれた理由について考えたことをそれぞれメモにまとめた。

【資料⑧】 西周から西晋の時代までの首都の変遷



設問35 2人のメモの正誤について述べた文としてもっとも適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

花子さんのメモ

長安は、渭水盆地のほぼ中央に位置し、北に平原が広がると同時に、南は山脈が広がっているから防衛上も有利だったと思います。漢の時代には、シルクロードの玄関口となったことから交通にも適した場所だったでしょうし、のちに運河で結ばれたように長江流域へのアクセスがしやすかったことも考えられますね。

太郎さんのメモ

洛陽は、周囲を丘陵に囲まれた洛陽盆地に位置するから、大河の氾濫による被害を受けにくかったのではないかな？あと、水路と陸路の結節点にあたるという地理的条件から、船舶による物資の搬送といった物流や商業を通じ、国家の経済発展に適した場所だったと考えられるね。周の時代に、鎬京から洛邑へ遷都されたように、西方の遊牧民からの脅威がより少ない場所だったこともあるのかな。

- A 花子さんのメモのみが正しい
- B 太郎さんのメモのみが正しい
- C 花子さんのメモも太郎さんのメモも両方正しい
- D 花子さんのメモも太郎さんのメモもどちらも間違っている

設問36 唐の時代の長安に関する記述として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 城内は碁盤目状の直線道路で整備されており、北側中央には宮殿が置かれた。
- B 城内には仏教や道教の寺院のほか、マニ教の寺院も置かれた。
- C 長安城の構造は渤海の上京竜泉府など、各国で模倣された。
- D 日本の平城京などでいわれる右京には東市が置かれ、左京には西市が置かれた。

設問37 中国では長安や洛陽のほか、現在の南京（建業・建康）にもたびたび首都が置かれてきた。南京（建業・建康）に首都を置かなかった王朝を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 呉
- B 陳
- C 隋
- D 明